

ごみ減量化事業

平成18年度にごみ袋を有料化してから、家庭ごみ排出量が平成20年度、21年度と2年連続で有料化前の20%以上の減量に成功。このことを受け、平成22年度に市指定ごみ袋の料金を半額にし、それ以降のごみ袋料金について市民と『ごみ袋変動相場制』導入の約束を交わしました。市民との協働でごみ減量につながる取り組みをご紹介します。

ポイント!

●「ごみ袋変動相場制」の導入

●6つのリバウンド防止策を展開

ごみ袋料金の再検討、ノーレジ袋とマイバック運動の推進、リユース事業の推進、生ごみのコンポスト化推進、雑紙の資源化推進、ごみ減量化に対する市民意識の高揚

●変動相場制導入して3年で家庭ごみの7.7%減量に成功したため、平成25年度にはごみ袋の料金を7.7%減額

ごみ減量化の状況

年度	家庭ごみ排出量(ト)	H17比減量率
H17	18,638.21	
H18	15,337.30	17.7%
H19	14,637.43	21.5%
H20	14,251.85	23.5%
H21	14,506.98	22.2%
H22	12,343.26	33.8%
H23	12,659.59	32.1%
H24	12,782.82	31.4%
H25	12,964.20	30.4%
H26	13,108.28	29.7%
H27	13,164.31	29.4%
H28	12,515.04	32.9%
H29	12,632.44	32.2%
H30	12,616.63	32.3%
R1	13,226.26	29.0%
R2	13,456.01	27.8%
R3	13,282.84	28.7%
R4	12,892.98	30.8%
R5	12,224.31	34.4%
R6	12,073.00	35.2%
R7	12,229.55	34.4%

視察者からの声!

☆市が注目を集めるような様々な施策に取り組むことで、ごみ減量に関心が集まっている。

☆雑がみを集めたら、市指定ごみ袋に変えてもらえるなんておもしろい。

